

協会ニュース

令和 5 年 10 月 31 日
中国地区品質経営協会
広島市西区横川町 3 丁目 5 番 9 号 (世良ビル 404 号)
TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845
e-mail qmac@a1.mbn.or.jp URL <http://qmac.jp/>

令和 5 年度 第 2 回シンポジウム「モノづくりマネジメント 技術革新」

- ◆ 開催日時 : 令和 5 年 10 月 18 日 (水) 13:20 ~ 17:00
- ◆ 場 所 : 広島商工会議所ビル 1 階 101 会議室 および Zoom による web 配信方式
- ◆ 参加者 : 33 企業・団体 245 名

令和 5 年度 第 2 回目のシンポジウム「モノづくりマネジメント技術革新」は、『モノづくりへのこだわり/技術革新』をテーマとし、当協会会員である日本規格協会様のご協力により開催しました。

お客様の要求にこたえるためには技術力の蓄積が重要であり、ベース技術を磨き、積み重ねる活動を愚直に実施継続することが肝要と考えます。そこで今回のシンポジウムは、「モノづくりへのこだわり/技術革新」をキーワードに、講師 2 名をお招きして、会場及び Web 配信で開催しました。

講演第一部では、株式会社タカキベーカーリーの 筒井 賢志 氏 より「お客様に焼き立てのパンの美味しさをお届けする為に～冷凍パン生地技術・焼成済み冷凍パン技術～」と題して、焼き立てパンの美味しさをお届けする為の技術革新の取組みについてご紹介頂きました。

講演第二部では、マツダ株式会社の 安達 範久 氏 より「お客様の輝きにつなげるマツダのモノづくり - 魂動デザイン実現に向けた金型生産技術革新 -」と題して、モノづくりの革新の考え方とマツダの生産技術革新の考え方や変革の事例についてご紹介いただきました。お二人ともたいへん興味深く参考になる講演でした。

ご講演後は、中国地区品質経営協会 副運営委員長 児玉 照三 をコーディネーターとしてパネルディスカッションが行われ、事前に会員企業・団体様から寄せられた多くの質問を基に、ディスカッションしました。その中では、実際の取り組みのこだわりや、具体的な事例に対する質問など、シンポジウムに参加された方のテーマに対する高い関心度が伝わるものとなりました。

シンポジウムの開催終了後に皆様より頂いたアンケートでは、「他業種の講演は聞く機会がないが、同じものづくりとして共感できる内容であった。」「パン食の普及のため、冷凍パンの特許取得後すぐに公開した点など、創業者の想いが伝わった。」「マツダにおける匠の技へのこだわり、更にはその伝承まで考えて実行されているところに感銘した。」などの感想が寄せられました。

また、参加動機に講演テーマを理由にあげられたご回答も多く、シンポジウムに対する満足度の高さからも、ご参加頂きました皆様にとって、非常に有意義なシンポジウムになったものと思います。



株式会社タカキベーカーリー
筒井 賢志 氏



マツダ株式会社
安達 範久 氏



コーディネーター
副運営委員長 児玉 照三



会場でのパネルディスカッションの様子
(オンラインでも配信)